

令和5年度 豊橋市民センター
指定管理事業報告書

特定非営利活動法人リシュ

◆指定管理業務名・目的

1. 業務名
豊橋市民センター・市民活動プラザの管理運営業務
2. 事業の目的
豊橋市民センター条例に基づいた市民活動団体の公益的な活動支援、事業計画書の運営方針、基本方針に基づき指定管理者として①～④に努める。
 - 1 市民活動経験者の増加
 - 2 市民活動情報の受発信拠点としての役割を果たす
 - 3 「協働」の拠点としての位置づけを確立する
 - 4 市民の側に立って行政や企業に伝える「かけはし」としての役割を果たす
3. 実施期間
令和5年4月1日～令和6年3月31日

◆豊橋市民センター・市民活動プラザ

管理運営業務実施内容

豊橋市民センター

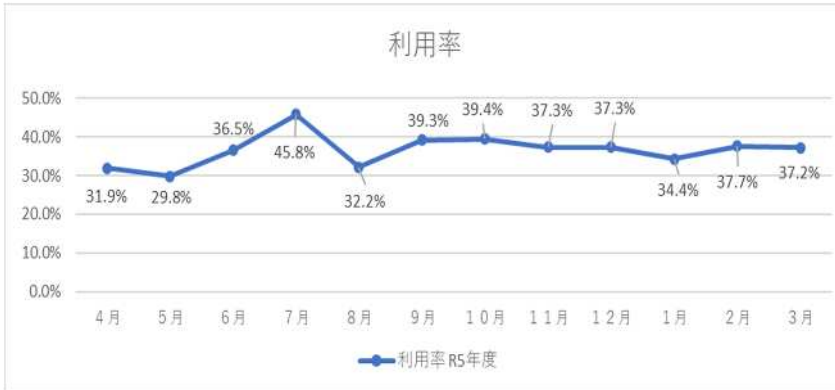
1. 会議室の予約、利用許可、清掃業務
予約管理システムの運用、利用許可証の発行・集金、利用データの入力・管理・会議室利用後の清掃等
2. 施設の維持管理
施設や備品に関する点検・保全・在庫管理・施設の施錠・非常時の対応

市民活動プラザ

1. 情報の収集・提供業務
 - 1 「どすごいネット」の管理運営、登録団体の入力作業、サイト利用操作方法の説明など
 - 2 豊橋市民活動プラザのHPの作成・維持管理
 - 3 メールマガジン及び情報誌等の発行
2. 活動場所の提供業務
 - 1 談話室の予約受付、貸出し等利用申し込みの対応
 - 2 印刷機器等設備の利用に関する事務
3. 意識啓発・普及業務
 - 1 意識啓発活動の実施
 - 2 啓発チラシパンフレット等の作成・更新
4. 人材育成・交流業務
 - 1 人材育成のための研修会を企画・運営（スキルアップ講座など）
 - 2 市民ボランティア活動団体の交流機会を増加するネットワークを構築
5. 相談・連絡調整業務
 - 1 市民ボランティア活動に関する市民からの相談窓口としての機能
 - 2 NPO法人認証取得のための相談への対応

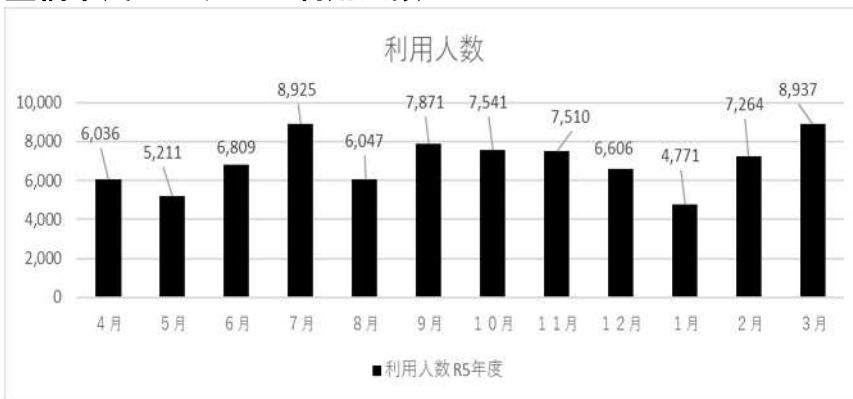
◆豊橋市民センター・市民活動プラザ

豊橋市民センター 利用率



リピーターが増え一定の利用は年間を通して安定しています。

豊橋市民センター 利用人数



4～6月は、コロナの影響で少人数利用の顧客が多くありました。

豊橋市民センター イベント

イベント名：カリオン春まつり（作品展＆音楽会＆文化体験）

日時：令和6年3月5日（火）～10日（日）

場所：豊橋市民センター・カリオンビル

作品展：大会議室

音楽体験：「グループ青い鳥」と「ギターを弾こう」の皆さんに依頼し、演奏会を開催

参加：入場者数：110人

コロナ禍休会中だった団体が戻ってこられ、賑やかになりました。

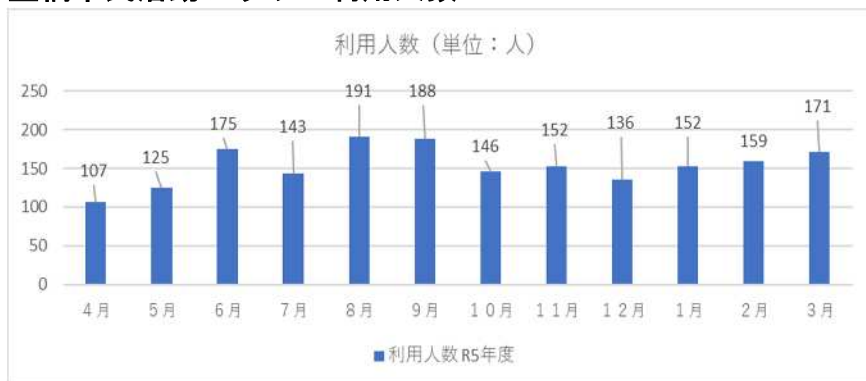
昨年同様展示方法を考慮し、見やすくゆっくりと滞在したくなる空間にしました。

今年度も最終日に演奏会を開催し、二団体が発表されました。

参加者の一体感が強まり和やかで楽しい時間となり、大変盛り上がりました。

春まつりは、会議室利用者が交流できる貴重な機会となっています。

豊橋市民活動プラザ 利用人数



団体活動が活発になり、会議や印刷による来館が増えました。また、カリオンライブラリーやボランティア資料の閲覧等のお客様も増えました。

豊橋市民活動プラザ 相談件数



個人からのボランティア参加相談が多くなりました。紹介先で元気に活動されているお話を伺うことも多くありました。団体からの相談は会員募集に関する内容が主にありました。

豊橋市民活動プラザ (どすごいネット) 登録団体数

令和5年度登録団体数 486団体

◆市民活動促進のための実施内容

スキルアップ講座

「ボランティア養成講座」

日 時：令和5年11月11日（土） 令和5年12月9日（土）
令和6年1月13日（土）
全3回 13：30～15：30

場 所：豊橋市民センター 4階 中会議室

内 容：「ボランティア養成講座」

「効果的なコミュニケーション」「傾聴トレーニング」「対立解消スキル」

昨年度同様満足度は高く、例年開催の依頼が多くありました。

講 師：山口 権治 氏（元高校教諭・公認心理士・ピアサポートコーディネーター）

参加者：43名

「パソコン講座」

日 時：令和5年4月1日・5月6日・6月3日・7月1日・8月5日・9月2日・10月
7日・11月4日・12月2日・令和6年1月6日・2月3日・3月2日（全て第
一土曜日）全12回 13：30～15：00

場 所：豊橋市民センター 2階 市民活動プラザ

内 容：オフィスサポート会長村松史子氏を講師に迎え、個々のレベル・ペースにあった指
導を行っているため、リピーターも多く参加者の講師への信頼度も厚い講座です。

参加者：48名

「NPO支援講座 プロボノって何？」

日 時：令和5年6月17日（土） 13：30～15：00

場 所：豊橋市民センター 4階 中会議室

内 容：プロボノとは何かを学び、活用方法を団体ごとに考える。

講座後、個別相談会を実施し、2団体が参加。

講 師：内藤 壽久 氏（特定非営利活動法人中部プロボノセンター スペシャリスト）

参加者：10名

若者に市民活動への参画を促す取組

日 時：令和5年9月2日（土） 13：30～15：30

場 所：豊橋市民センター 6階 多目的ホール

内 容：「学生市民活動団体の運営を学ぼう！」

学生団体が思いがあり立ち上がっても、継続するのが難しいという問題について
どう取り組んだらいいのか、現状とこれからについて学習した。

講 師：菊地 裕幸 氏（愛知大学地域政策学部 教授）

参加者：28名

団体交流会

日 時：令和6年2月10日（土） 13：30～15：00

場 所：豊橋市民センター 4階 中会議室

内 容：「ピアサポートでもっと活性化できる！多分野交流で新たな協働を生み出す」

活動者同士がピアサポーターとなり互いの悩みを聴き合い、共感し、一緒に問題解
決に取り組むワークショップを実施。各団体の実情を出し合い、今後についての意
見交換も大変有意義な時間だったと好評で継続実施を望む声も多くありました。

講 師：山口 権治 氏（元高校教諭・公認心理士・ピアサポートコーディネーター）

参加者：16名

オレンジフェスタ

日 時：令和5年11月5日（日）9：00～15：00

場 所：豊橋市民センター全館、松葉公園

内 容：市民活動団体が一堂に会し、活動を紹介・体験していただけるようにブースを設け出典し、多くの市民と交流出来る機会となりました。また、市主催のまちなかの事業との共催により、市民活動と出会う機会のなかった多くの来場者にボランティア活動を知るきっかけを提供できました。多くの大学生・高校生ボランティアの参加により、活気が出て、受け入れる市民団体との交流が互いに有意義な体験となったと喜ばれました。参加団体同士の交流も進み一体感のある雰囲気になりました。

☆オレンジフェスタ内でハローボランティア事業を開催☆

○秋のカリオン収穫祭・まちなかハロウィン共催

内 容：市民センター職員手作りのスタンプラリーの実施

※市主催まちなかスタンプラリーも同時実施

参加者：2,000名

カリオンライブラリー

～まちづくりのための選書ライブラリー～

場 所：豊橋市民センター 2階 市民活動プラザ

内 容：地域活性のプロが仲間とともに選書して下さった100冊を若者から高齢の方までの皆さんが気軽に立ち寄り、願うまちをつくり合うために活用していただけるライブラリーを目指して設置。選書は木下齊氏。100冊の地域課題解決へのヒントとなりえる本を展示し、市民の学びと交流の場になり得るようなライブラリーということが少しずつ周知され、一般市民と共に仕事のため来豊した来館者が増え、読みたい本がたくさんあると喜ばれる方が多くみえました。

「カリオンライブラリー」輪読会①

日 時：令和5年5月10日・7月13日・9月14日・11月19日・

令和6年1月28日・3月8日

18：30～21：00（ZOOMでも開催）

場 所：豊橋市民センター 6階 多目的ホール、4階 中会議室・小会議室

内 容：カリオンライブラリーにある本を使い輪読会を実施しました。また、広がりを持ちたいと「カリオンの円卓」と団体名を決定し、今後はアウトプット活動もしていくことになりました。

参加者：42名

「カリオンライブラリー」輪読会②

日 時：令和5年5月26日・6月15日・7月21日・8月25日・9月14日・

10月20日・令和6年1月19日・2月27日・3月29日

場 所：豊橋市民センター 2階 市民活動プラザ（カリオンライブラリー）

内 容：ライブラリーの本・関連選書による輪読会 毎回活発な意見交換をおこなっていました。

参加者：48名

◆情報の収集と提供

1. 情報誌「カリオンレポート」の発行

隔月発行：令和4年5月・7月・9月・11月・令和5年1月・3月 計6回

毎回登録450団体ほどに送付

開閉館情報と共に、講座、団体情報、イベント・助成金情報等について詳しく発信しました。特に東日新聞のWAVE欄の紹介、カリオンライブラリーの本の紹介などを継続して掲載しました。

2. 市民活動プラザホームページ管理

施設の紹介・助成金情報・イベント紹介など様々な情報を発信している。「問い合わせ」欄を使ってメールでの問い合わせ、相談を受け付けました。

特に助成金情報は、常に最新の情報を掲示し、市民活動団体の方々に役立つ情報を発信しました。



3. Facebook・メール・Instagram配信の運用

さまざまなネットツールを使い、市民活動団体に役立つ情報を配信。時代に合わせたツールを使うことで、若者の市民活動団体などにも響くように配信ツールを使い分け、スピード感をもって配信しました。

Facebookについては、情報の配信タイミングを逃さないように気をつけ、Instagramには、センターが人を大切に思い運営していることを伝えるため絵本カフェを投稿していました。

Instagramのフォロワーも増え、こまめに配信する成果が出てきています。

4. 東日新聞「WAVE」掲載・FMとよはし生出演

東日新聞と提携して、毎週土曜日の新聞に「WAVE」のコーナーで市民活動団体の紹介や、イベントの紹介を行いました。また生の声での発信の効果をねらい、毎週火曜日11時過ぎにFMとよはし「おれんじじゅうす」への出演も同時に依頼し、ボランティア情報の発信コーナーとして活用いただきました。今年度も昨年以上に掲載依頼が多くあり、広く有効な広報と認識されました。また、FMとよはしへの出演を皆さんとても楽しみにしていただいています。

5. 情報閲覧コーナーの活用促進

市民センター2階にある情報閲覧コーナーの情報を整理し、常に新しい情報の掲示に努めました。市民の方々やボランティア団体の方々が閲覧しやすいようにしたことで、2階利用時に自分の団体の情報を加えるために来館される団体も多くなりました。また他団体の情報を参考にし、互いにつながる団体がありました。個人ボランティア希望者がゆっくりと閲覧し希望団体を決める一助ともなりました。

階段横の壁には、WAVE記事を見やすく掲載順に掲示しています。

6. 東三河市民活動情報サイトの活用

どすごいネットを利用し、講座・セミナー助成金などの情報を発信しました。

◆施設管理に関する事項

1. 設備点検・修繕の記録

○点検実施、◎年次点検、▲修理

項 目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1. 清掃業務	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2. 警備業務	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3. 冷暖房設備保守			○			○			○			○
4. テレビ共聴設備保守										◎		
5. 洋鐘保守					○						○	
6. 消防設備保守				○						○		
7. 電気工作物保安全管理	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○
8. エレベーター保守	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9. 受水槽清掃業務						○						
10. 廃棄物処理業務	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11. 公共建築物定期点検業務												◎

2. 防災・火災訓練

項 目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1. 日常点検		○		○		○		○		○		○
2. 火災・地震訓練				○						○		

火災・地震訓練・・・各訓練ともスタッフ全員が参加。管財、点検業者と共に訓練実施しました。

◆令和5年度のまとめ

事業運営についての評価と反省点

【豊橋市民センター】

会議室の利用状況については、昨年度までの年間利用の企業が自社研修所へ移動したため利用されなくなり大きく減収となりました。それ以外の利用者については継続利用が多く、また新規顧客も増加しました

公共施設として、快適にご利用いただける目標を維持しながら、電気料金が高額にならないように、温度調節を職員全員で取り組み、利用者の快適さの維持と電気料金の抑制を両立することが出来ました。

窓口対応については、職員がマニュアルを厳守し、利用者にとって心地良い対応を心がけ、また公平性を持って接することが出来ました。確認書については利用者と職員が丁寧にコミュニケーションを取りながら記入を依頼することで、信頼関係を築きながら運用しています。そしてカフェを通じて利用者との会話が広がり、職員と利用者という垣根を越えて様々な話をすることで、コーヒーの香りと共にあたたかな雰囲気を利用する会議室等へ届けることが出来ているのではないかと思います。お帰りの際に「ありがとうございました。また次回もよろしくお願いいたします。」と利用者の方々からお声を掛けられることは、ひとりひとりの職員にとって、とても嬉しいものでした。

【豊橋市民活動プラザ】

市民活動支援に関しては、広報支援としてFMとよはしや東日新聞のWAVE、Instagramなど、こちらからの声かけを地道に行っていました。今年度は活動団体の方からの申し出がとて多くなりご活用いただいています。また、運営上のちょっとした困りごとから団体解散まで、「とにかくここに聞けば教えてもらえると思って」とお問い合わせいただいているので、相談事業についてもご信頼いただいているものと考えています。そして豊橋市市民活動推進補助金については、全ての応募者の相談にのり、的確なアドバイスを心がけ、応募企画が採択になるよう支援しました。カリオンライブラリーを起点とした人づくりについても「輪読会」メンバーが今後は外への広がりを目的にアウトプット活動をしていくことになり、市民活動の推進に繋がる活動として期待できます。「オレンジフェスタ」では、大勢の大学生・高校生ボランティアが高齢化の進む市民活動団体を援助し活躍しました。まちなか事業とも共催出来、多くの来場者に団体のことを知っていただきました。講座についても参加者同士で目指したい形を共有する取り組みを実施することで、活動者の良い気づきと出会いの場となりました。

* 広報に関する取り組み

具 体 的 手 法	評価
ホームページ	A
Facebook	A
メール	A
カリオンレポート	A
チラシ・ポスター配布	A
Instagram	A

* 施設利用の促進に対する取り組み

具 体 的 手 法	評価
電話問い合わせに対して丁寧な説明	A
次回の利用を促すよう、空き部屋情報を各団体来館時に紹介する	A
清掃をきちんとし、清潔感を感じられるようにした	A
コロナ禍における利用制限を明文化し、確認書を作り理解を得る	A
大雨により発生した還付を利用者目線で対応	A

* 市民活動団体の育成・支援に対する取り組み

具 体 的 手 法	評価
相談事項に対して細やかな対応、連絡、紹介	A
市民団体の情報の整理と掲示	A
ハローボランティアへの講師依頼	A
NPO 法人、市民団体設立の相談事業	A
市民団体の広報に対する支援（FM とよはしと新規インスタグラム）	A

1年間を振り返り

コロナ禍が収束し、以前の動きに戻すべく市民活動支援事業を進めてきました。広報事業として「FM とよはし」と「東日新聞の WAVE」を依頼するにあたり、昨年より更に担当者が丁寧な対応を心掛け、団体担当者との信頼関係が構築されたことは、大きな成果であり、それは主に窓口業務を担う職員にも良い影響を与えました。今年度のオレンジフェスタも、まちなかイベントと連携出来、スタンプラリーを楽しむ親子も多数来館し、団体と長時間笑顔で話し込む姿は、まちづくりに携わるものとしてとても幸せな光景でした。多くの方に多様な市民活動を知っていただく機会の貴重さを感じる瞬間でした。また今回も、高校生・大学生がボランティアとして多人数参加していただけたことにより、活動の中心を担う高齢世代の方々からは、思いが伝えられたと高評価いただきました。今後も、市民の皆様にとってより良い「機会」の提供と、的確な活動支援を行えるセンターを目指します。

また、6月の大雨で車が水没、故障してしまった方のために行われた車の無料貸し出し支援ボランティアに職員2名が参加し、仙台と静岡より車を引き取り、被災された方へお届けをしました。若い職員の積極的な支援行動は、今後も継続するよう働き方も含め努力していきます。

収支決算書（令和5年度分）

（単位：円）

区分		金額	内容
収入 決算	指定管理料	28,080,000	
	利用料金	6,293,840	
	自主事業収入	255,390	カフェ事業収入
	その他収入	556,065	自販機収入他
収入合計		35,185,295	

区分	内訳	金額	内容
支出 決算	1) 人件費	人件費	21,047,526
	2) 需用費	消耗品費等	556,567
		光熱水費	3,547,601
		雑費	188,446
	3) 役務費	通信運搬費	454,502
		手数料	61,070
		保険料	21,440
	4) 委託料		6,223,800
	5) 賃借料		833,628
	6) 事業費		486,060
	7) 研修費		0
	8) 定期点検費		264,000
	9) 公租公課		900,000
10) 一般管理費		2,774,926	
支出合計		37,359,566	